

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

| | | |
|-------------|--------|---------------------------|
| 氏名 一期 崎 直 美 | 職名 講 師 | 学位 修士 (教育学) (熊本大学 2010 年) |
|-------------|--------|---------------------------|

| | |
|---------|-------------|
| 研 究 分 野 | 研究内容のキーワード |
| 養護教育 | 養護教諭、専門職、ケア |

| |
|---|
| 研 究 課 題 |
| <p>養護教諭の専門性について研究している。現在、養護教諭の仕事に関する教育学の研究を検討し問題の所在を定め、次に専門職に関する社会学を検討し、理論枠組みを構築している。今年度は、養護教諭を対象とした社会調査を継続して実施し分析している。</p> |

| |
|---|
| 担 当 授 業 科 目 |
| <p>対象別公衆衛生看護活動論 I (前期) 看護学科 学校保健 (後期) 看護学科 養護概説 (後期) 看護学科 健康相談 (前期) 看護学科 学校保健教育法 (後期) 看護学科 事前及び事後の指導 (4 年生対象) (前期・後期) 看護学科 事前及び事後の指導 (3 年生対象) (後期) 看護学科 養護実習 (前・後期) 看護学科 教育実習 I (前・後期) 看護学科 教職実践演習〈養護教諭〉 (後期) 看護学科 教職実践演習〈中・高等学校〉 (後期) 看護学科 看護総合演習 (前・後期) 看護学科 看護総合実習 (前・後期) 看護学科</p> |

| |
|---|
| <p>授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)</p> |
| <p>授業科目名【対象別公衆衛生看護活動論 I】</p> <p>①この科目は、看護学科公衆衛生看護関係科目の選択科目である。学生は、公衆衛生看護活動の場である学校における「学校保健」の概要について学ぶ。学校保健は、これまで学生が経験した学校生活で理解できる点もあるため、この経験と結び付くよう説明している。</p> <p>②学校における特別支援教育の理解が深まるよう、発達障害の事例を用いる演習を取り入れている。</p> <p>③講義内容について思考を深めるように、事前学習に選択式問題を取り入れ提出させている。</p> |
| <p>授業科目名【学校保健】</p> <p>①学校保健は、養護教諭一種免許状取得においては必修科目である。学生の主体的な学習を促すために、授業における事前学習課題をポートフォリオを作成するよう指導した。</p> <p>②事前課題と講義を統合させたり深化させるために、討論したり発表したりする機会を設定した。</p> <p>③学校保健でよく利用するホームページや電子書籍サイトの使用方法について紹介し、必要な資料については、学生にダウンロードさせ授業で活用するようにした。</p> <p>④学校保健における健康課題を理解するために、図書館の雑誌を紹介し、学生の発表につなげるよう指導した。</p> |

授業科目名【養護概説】

- ①養護概説は、養護教諭一種免許状取得においては必修科目である。学校保健活動を養護教諭として実践していくために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。そのため学校保健の内容と連動するように構成している。
- ②主体的な学習を促すために事前学習については、学生に発表の機会を設けている。養護教諭の職務の重要な点や学校で養護教諭の具体的な活動について実務経験を含め説明した。
- ③養護教諭が学校で行う主な仕事について、講義だけでなく演習を取り入れている。
- ④ロールプレイ（救急処置・保健指導など）は、学生が養護教諭と児童生徒役を相互に担うような設定にし、学生の振り返りは自己および他者評価を取り入れている。
- ⑤図書館に所蔵されている養護教諭がよく活用する雑誌を紹介し、養護教諭の具体的な活動について調べ発表する機会を設けている。

授業科目名【健康相談】

- ①養護教諭は、児童生徒に対して身体面だけでなく全人的な支援が求められている。その精神的な支援の基礎となる健康相談の知識・技術について学ぶ。健康相談を行う学生自身が、心の健康を保つことが重要となる。そのため、学生自身が自己理解を深めるような演習を取り入れている。
- ②養護教諭の健康相談に必要とされる心理学領域の基礎理論を学習し、演習で理解を深めた。
- ③養護教諭の職務の特質および保健室の機能を活かした健康相談の基礎・基本を身につけるために、演習では、事例を活用した。
- ④学校における課題を抱える子ども（虐待、不登校など）への理解を深めるだけでなく、そのような子どもたちへの対応について、学生同士で討論させ理解を深めさせた。
- ⑤保健室来室者への対応場面の演習では、ロールプレイを取り入れる演習を実施した。

授業科目名【学校保健教育法】

- ①学校保健教育法は、教職課程における養護教諭一種免許状取得希望学生を対象とした必修科目である。将来、学校で養護教諭として保健教育が担えることを目指して実施できるよう構成している。
- ②学校における保健教育（教科保健・特別活動）は、教職課程での既習を確認しながら進めた。
- ③養護教諭が主に担う保健教育（歯の健康づくり、性に関する教育、環境教育、安全教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育）について事前学習するように指導し、演習内容と連動するよう授業を構成している。
- ④各学生が実施した模擬授業について、学生自身が実践を振り返ることができるよう他者評価を活用した。
- ⑤情報活用能力を児童生徒に育成するため、学校保健教育で役立つホームページなどを学生に紹介した。
- ⑥授業時間外でも、学習指導案や教材の作成などについて、学生への個別支援を行った。

授業科目名【事前及び事後の指導】4年生対象（前・後期）

- ①教職課程の実習に関わる事前指導および事後指導を実施する科目である。教職課程の実習は、4年次で、はじめて学生が経験するため、とくに事前指導を充実させるような構成にしている。
- ②主体的に実習となるよう、期間中に経験できる授業や行事について学生自身に情報を収集させ、模擬授業等に活かすように指導した。
- ③学生は、実習で初めて児童生徒へ授業を行うため、学生の指導計画作成や教材づくりは、授業時間外でも支援した。
- ④学生が行う模擬授業の評価は、振り返りを深化させるよう教員だけでなく、学生からの他者評価も取り入れている。
- ⑤実習後に学生が実習校での学びを共有できるよう、実習発表会を実施している。
- ⑥学生主体の実習発表会になるよう、会の進行などについても学生が担うよう指導している。
- ⑦次年度実習予定の3年生が参加できるよう発表会の時間設定を工夫し、他学年との連携を図った。

授業科目名【事前及び事後の指導】3年生

- ①教職課程の実習に関わる事前指導および事後指導を実施する科目である。教職課程の実習は、4年次で、はじめて学生が経験するため、とくに事前指導を充実させるような構成にしている。
- ②学生の実習時期は、実習に行く学生でそれぞれ異なる。実習時期を考慮しながら、他学科の教職課程の担当者と相談しながらオリエンテーション等の日程は検討している。

| |
|---|
| <p>授業科目名【養護実習】</p> <p>①養護実習は、養護教諭一種免許状取得のためには必修科目である。学校で実際に児童生徒と関わり、養護教諭としての仕事を体験する3週間の実習である。学生はこれまでグループで実施する実習形態で、単独での実習経験がない。そのため、個別面談の機会を設け学習の準備状況を確認している。</p> <p>②学生自身が、将来、養護教諭として働くことを目指し積極的に実習するよう指導している。</p> <p>③各自の目標が達成できるよう、主体的に実習校と連絡をとり準備をすすめるよう指導した。</p> <p>④学生の実習状況を把握し実習の事後指導に役立てるよう、実習校訪問は学生の査定授業の日に可能な限り計画し訪問するようにしている。</p> |
| <p>授業科目名【教育実習Ⅰ】</p> <p>①教育実習は、高等学校教諭一種免許状（看護）の取得のために行う。高等学校における看護教員としての仕事を体験する2週間の実習である。学校で実際に生徒に関り、現職の看護教員の授業を参観したりや担任の役割についても学ぶ。学生はこれまでグループで実施する実習形態で、単独での実習経験がない。そのため、個別面談の機会を設け学習の準備状況を確認している。</p> <p>②学生自身が看護師としてのキャリアを考え実習に臨むよう、事前に面談している。</p> <p>③各自が実習の際に実践する授業内容について、主体的に実習校と連絡をとって準備をすすめるように指導した。</p> <p>④学生は、出身校の実習ではないため、事前に学生と実習校に訪問し意欲を高めていくように指導している。</p> <p>⑤学生の実習状況を把握し実習の事後指導に役立てるよう、実習校訪問は学生の査定授業の日に可能な限り計画し訪問するようにしている。</p> |
| <p>授業科目名【教職実践演習】（養護教諭）</p> <p>①教職課程における学び及び実習を振り返らせ、教員になるための課題を考え解決へと結びつけていくための集大成の講義である。外部講師（特別支援教育・地域家庭との連携）を招き、学生の学びを深化させるような機会を設定している。</p> <p>②教職課程担当者全員で指導を行う授業には参加し、学生の学習状況を把握した。</p> <p>③栄養学科の栄養教諭志望学生と看護学科の養護教諭志望学生で、相互の職務について発表したり討論したりするよう講義を企画している。</p> <p>④学生は特別支援学校の実習経験がない。そのため、特別支援学校の養護教諭の職務や子どもたちの実態を学ぶ機会として講話を設定している。</p> <p>⑤養護教諭の研究の場を学ぶために、養護教諭養成者や養護教諭が多く参加する学会に学生を参加させた。</p> |
| <p>授業科目名【教職実践演習】（中・高等学校教諭）</p> <p>①教職課程における学び及び実習を振り返らせ、教員になるための課題を考え解決へと結びつけていくための集大成の講義である。外部講師（特別支援教育・地域家庭との連携）を招き、学生の学びを深化させるような機会を設定している。</p> <p>②教職課程担当者全員で指導を行う授業に参加し、学生の学習状況を把握している。中・高等学校教諭の講義は、主に学生の模擬授業の際に参加した。</p> |
| <p>授業科目名【看護総合演習】</p> <p>①看護総合演習は、看護学科専門の必修科目である。各個人で看護実践における自己の課題を探求し、看護総合実習に向けて計画を立案し、実習終了後テーマに基づきレポートを作成していく。講義・演習だけでなく個別指導を含めて支援した。</p> <p>②レポート作成は、3年次の講義「看護研究」での既習事項を振り返りながら進めた。</p> <p>③実習後のレポート発表会は、各自がパワーポイントで資料を作成し、質疑応答するような学会と同様のスタイルで実施した。</p> |
| <p>授業科目名【看護総合実習】</p> <p>①看護総合実習は、看護実習の集大成と位置づけられ、主体的に計画から展開していくことが重要になる。学生が主体的に実習指導者と連絡を取りながら実習を進めるように指導している。</p> <p>②学校保健の領域は、養護教諭の職務を体験し、担任などの他職種と連携しながら、学級で保健指導（授業）を実践させていただく。実施させていただく保健指導の準備を看護総合演習で支援し準備した。</p> <p>③実習中、学生が学級で保健指導（授業）を実践する際は、可能なかぎり参観し、保健指導の内容を改善していくよう、実習指導者と連携し指導した。</p> |

| 学 会 に お け る 活 動 | | |
|-----------------|-----------|-------------|
| 所属学会等の名称 | 役職名等 (任期) | 加入時期 |
| 日本学校保健学会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本養護教諭教育学会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本健康相談活動学会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本教育保健学会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本看護協会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本看護学教育学会 | | 2008年～現在に至る |
| 日本養護実践学会 | | 2008年～現在に至る |

| 2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 | | | | |
|--|---------|-----------|-----------------------------|--|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概 要 |
| (著書) | | | | |
| (学術論文) | | | | |
| (翻訳) | | | | |
| (学会発表) | | | | |
| (その他附属研究所報告会発表) 養護教諭の専門性に関する基礎研究 (中間報告) | 共 | 2021.3.25 | 西南女学院大学附属研究所報告会 (於 西南女学院大学) | ①男性養護教諭が発行した通信をテキストデータ化し、男性養護教諭と子どもとの相互関係について分析した。養護教諭の専門性の再構築につながる可能性について報告した。 ②共同発表者名 一期崎直美、新谷恭明、西丸月美 |
| 「教職実践演習」における養護教諭と他職種連携に関する事例を用いた教育効果の研究 | 共 | 2021.3.25 | 西南女学院大学附属研究所報告会 | ①「教職実践演習」において学生の受講前と受講後に自己評価式アンケート調査を行い、行動目標の変化を分析し、「教職 実践演習」で事例を用いた養護教諭と多職種連携のあり方について、学生の自己評価をもとに教育効果の手がかりとした。 ②共同発表者名 西丸月美、一期崎直美 |

| 2020年度 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--------------------|---------|-----------|---------------------|--|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| | | | | 教育研究業績 総数 (2021.3.31現在) 著書 (内訳 単0, 共1) 学術論文 (内訳 単1, 共4) 翻訳 (内訳 単0, 共0) 学会発表 (内訳 単3, 共3) |

| 外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む) | | | |
|---|--------------|------------------------|-----------------|
| (1) 共同研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者 () 内は学外者 | 交付決定額 (単位:円) |
| 養護教諭の専門性に関する基礎研究 | 西南女学院大学附属研究所 | ○一期崎直美 新谷恭明 西丸月美 | 298,480 |
| 「教職実践演習」における養護教諭と他職種連携に関する事例を用いた教育効果の研究 | 西南女学院大学附属研究所 | ○西丸月美 一期崎直美 | 227,000 |

| 外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む) | | | |
|------------------------------------|------|-----------------|----|
| (2) 個人研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 (単位:円) | 備考 |
| | | | |

| 社会における活動等 | | |
|-------------------------|------|-------------|
| 団体・委員会等の名称 (内容) | 役職名等 | 任期 期間等 |
| 日本養護教諭教育学会第28回学術集会実行委員会 | 実行委員 | 2019～2020年度 |

| 学内における活動等 (役職、委員、学生支援など) | |
|--------------------------|----------------------|
| 教職課程委員会委員 | 2020年4月1日～2021年3月31日 |
| FD委員会委員 | 2020年4月1日～2021年3月31日 |
| 看護学科1年・4年アドバイザー | 2020年4月1日～2021年3月31日 |
| 教員免許更新講習コーディネーター | 2020年4月1日～2021年3月31日 |